

本時のねらい

・タブレットを用いて、様々なリズムをつなげたり組み合わせたりしておまつりの音楽を表現することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Garage Bandを使って、太鼓のリズムをつなげたり、かさねたりしながらおまつりの音楽を作ることができる。
- ・いろいろな和太鼓の音色やかけ声を録音することで、表現の幅を広げる。
- ・作った音楽をロイロノートに書き出して共有することで、それぞれのグループの良いところを見つけることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Apple TV ・大型モニター ・学習支援アプリ（ロイロノート） ・Garage Band

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今日のめあてを確認する。 「みんなできょうかして、おまつりの音楽を作ろう」 ○前時でつくったリズムやかけ声を復習する。 ○Garage Bandの使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和太鼓モード、録音の仕方などの操作について確認する。 ・事前に、Garage Band内の追加ドラムキットより、「日本の伝統楽器」をダウンロードしておく。 ・ペロシティ感度をオフにしておくことで、音の強弱の変化をなくし一定にすることができる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○個人でリズムを練習する。 【写真1】 ○班でリズムを組み合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・録音するタブレットを決める。 ・順番を決めて録音する。 ○出来上がったリズムを班で聴き、確認する。 【写真2】 ○よりよいおまつりの音楽になるように工夫を加える。 【写真3】 <ul style="list-style-type: none"> ・かねやバチ、締め太鼓 ・かけ声 	<ul style="list-style-type: none"> ・Split View(画面分割)を活用し、楽譜を見ながら演奏できるようにする。 ・練習は、Garage Bandの録音機能は使わずに行う。 ・班ごとに事前に決めていた1台の端末で録音していくことを伝える。録音する順番も事前に決めていた順番で行う。 ・周りの班もリズムを聴くため、音量には配慮するよう伝える。 ・太鼓のリズムが録音できた班は、かねや締め太鼓などの別の楽器のリズムやかけ声を入れていく。 ・教師の見本を提示し、イメージを膨らませる。 ・かけ声を入れる班は、別の教室や廊下にあるブースで録音したり、段ボールなどで端末を囲ったりすることで、雑音を減らして録音することができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○作品を提出する。 ○次時の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した音源を書き出し、ロイロノートの提出箱に提出する。 ・書き出しをスムーズに行うために、オーディオの品質は「中音質」を選択するように伝える。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 個人練習をしている場面



【写真2】 班で出来上がったリズムを聴いている場面



写真3】 かけ声ブースで音声を録音している場面

児童生徒の反応や変容

- ・1台のタブレット端末で録音することで、児童たちが班で協力しながら活動に取り組む姿が見られた。
- ・タブレットのSplit View(画面分割)機能を活用することで、黒板やテレビ画面を見て行う時に比べ、リズム打ちの作業をスムーズに行うことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・間違えても何度も録音し直すことができるICTの良さが、児童の意欲につながっていた。
- ・音楽が苦手な児童も、様々な楽器の音色やタブレット上で共有された友だちのリズムを聴き合うことで、自分なりのリズム音源を作ることができた。